

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 28 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：第 1 回市町村民公開講座</p>
<p>2. 申請者名：茅野市諏訪郡歯科医師会 代表者氏名 清水 芳幸</p>
<p>3. 実施組織：茅野市諏訪郡歯科医師会 担当者氏名 野村 寿男</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>長野県は長寿の県といわれているが、死亡原因は血管障害が多く内科的疾患に対して治療はなされているものの克服したとは言い難い。近年血管疾患の関連として歯周疾患がとりざたされている。この歯周疾患と全身疾患の関係を学び、市町村民の健康寿命に対して歯科からのアプローチを学ぶものである。</p> <p>茅野市、原村、富士見町の 3 市町村の市民を対象にして、東京大学先端臨床医学開発講座 特任准教授である鈴木淳一先生をお招きして「歯を治して健康寿命を延ばしましょう」の題目で第 1 回市町村民公開講座を開催するものである。</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <p>市町村民公開講座は初めての試みであり、具体的に市町村民に対して歯周疾患と全身疾患との関係を学んでもらう。講師として東京大学先端臨床医学開発講座 特任准教授である鈴木淳一先生をお招きして「歯を治して健康寿命を延ばしましょう」の題目で講演していただいた。講演のなかで鈴木先生は歯周疾患の特徴、歯周病が重篤だと死亡率が高いこと、歯周病と全身疾患の関係をお話されました。循環器疾患のうち心臓の冠動脈硬化の原因としてコレステロールの影響が言われていましたが、最近ではそれに加え細菌・ウイルスの感染が発症に関わっていること。全身疾患の関わりとしては歯周病と糖尿病が負のスパイラルを生んでいること。誤嚥性肺炎では口腔細菌が多いこと。妊娠では生体が歯周病からの細菌感染に対して生じるプロスタグランジンが子宮収縮を起こしてしまうことなど講演していただきました。</p> <p>歯周疾患と全身疾患の問題を解決するには医者と歯科の連携だけでなく他職種連携と、それに加えて行政との関わりが重要であることをお話されました。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>会場の見直しを行い、事業費を節約することの検討。行政、学校関係者の聴講者を多くする。市民が来やすい場所の選定をする。一般団体を増やす。市民に分かりやすい講師を選定する。商工会議所にも聴講希望者を募ってみる。</p>